

内科よりお知らせ！

## インフルエンザ注意報!!

秋になり、涼風が立ち始めると風邪をひかれる患者さんが増えてきます。皆様もご存知の通り、普通の風邪は咳、くしゃみ、微熱程度であり重症化する事はありません。ところが、インフルエンザ・ウィルスによって発症するインフルエンザは、上記症状以外に39度の高熱、頭痛、全身の筋肉痛や関節痛を伴い重症化します。特にお子さんや高齢の方は脳炎や、熱性麻痺から肺炎などを起こし死亡したり、重い後遺症を残すことがあります。現在はタミフルやリレンザと言うような特効薬もあり又、検査も外来で簡単に出来るようになっていいますので、早めの診察をおすすめします。

当院の内科は月曜日～土曜日まで外来にて診察を受けることができます。何か気になる症状がございましたら、お気軽にご相談ください。

尚、インフルエンザの予防接種期間は平成20年10月20日(月)～

平成21年1月31日(土)までです。お早めの予防接種をおすすめ致します。



内科医師 渡辺有造

## 診療科・受付時間のご案内

- 内科: 月～土
- 外科・胃外科: 月、水～土 水曜の午後は往診のため予約制になります。
- 整形外科: 火、金 担当医師は火曜:小林医師、金曜:清水医師となります。
- 泌尿器科・呼吸器内科: 火
- 循環器内科: 水、金 担当医師は水曜:小川医師、金曜:島本医師となります。
- リウマチ科: 金
- 小児科・アレルギー科: 水、木、土 水曜、木曜は16:00まで、土曜は14:00までとなります。

※特定健診・後期高齢者健診、その他検診、人間ドックも行っておりますので、お気軽にお声をおかけ下さい。



### ●編集後記●



暑かった夏も終わり、芸術の秋、食欲の秋がやってきます。当院では患者さんと職員の合同文化祭を実施します。

会期は11/1～11/15までですので、多くの出品をお待ちしております。 Y. N

次回 11月発行予定



医療法人 社団南浜会 鈴木病院  
〒248-0033 鎌倉市腰越1-1-1

TEL 0467-31-7651(代)  
<http://www.suzuki-hp.ne.jp>

広  
報



# すずなり

鈴木病院  
2008年10月発行  
創刊号



目  
次

- 鈴木病院 理事長より「すずなり」発行にあたって……1
- 鈴木病院の歴史
- 職場紹介、今回は「リハビリテーションセンター」より……2
- イベントのお知らせ 第26回「患者様と職員の合同文化祭」のご案内
- 内科よりお知らせ！ インフルエンザ注意報！！(内科医 渡辺有造先生 より)……3
- 診療科・受付時間のご案内

## 「すずなり」発行にあたって 理事長より

当院ではこのほど、広報誌を発行することにいたしました。目的は患者さんとして当院を上手に、有効に利用していただくための、いわば当院の診療内容などに関する「ミニコミ誌」といった感じでしょうか。大分昔のことになりますが、当院には患者さん向けの「病院ニュース」という広報誌と「すずなり」という職員向けの広報誌を発行していました。「すずなり」とは「鈴生。果実などが神楽鈴(かぐらすず)のように、多く群がって房をなすこと。ふさなり(広辞苑・第三版)」とあるように「柿の実がすずなりになる」などと、「豊かさ」を感じさせる言葉で、それをタイトルにしたものです。この度もそのタイトルで再発行することになりました。どうぞご利用ください。



理事長 鈴木 道夫

## 鈴木病院の歴史



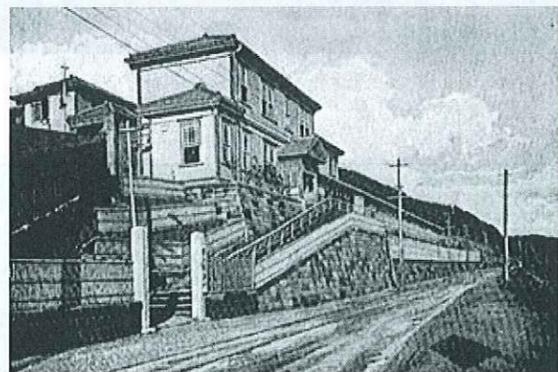
創設者 鈴木幸之助医学博士

当院は、明治44年(1911)年にこの地に療養所として創設されました。創設者は、医学博士・鈴木幸之助で、海軍の軍医中將でありました。明治40年、予備役になると東京・麻布に鈴木医院を開設し、当時国民病と言われた結核の撲滅に立ち上がると共に、西欧各地のサナトリウムを視察し、それらを参考にし療養所を開設したのです。そして初めての患者さんを迎えた明治44年4月1日が創立記念日とされました。

開所後12年を経た大正12年9月1日、関東大震災により、2階建ての管理棟を除く殆ど総ての建物が倒壊し、壊滅的な被害を被りました。震災後直ちに復興に着手し、昭和5年までに8棟を建設し、復興と共に拡張、を終えました。

昭和10年12月30日、不慮の失火により病棟二棟約250坪を全焼しましたが、幸い死傷者等はでませんでした。その後、第二次世界大戦の勃発により世情は動乱し、療養所経営も極めて困難な時期を迎えました。終戦を迎えるのと相前後し、創設者の逝去を迎え事態は更に厳しくなりました。副所長・鈴木哲夫が直ちに所長を継承し、この苦境を乗り切りました。

第二次世界大戦後も年を経るにつれ、また抗結核薬の開発も手伝い、ひところ蔓延した肺結核は次第に減少することが著明になったため、創設50周年を迎えるにあたり、名称を鈴木病院と改めました。この間、昭和26年2月に、医療法人を組織し所長が理事長を兼務しました。



創立当時の鈴木療養所

療養所から一般病院に変身するために大改造が必要となり、所有地の大部分を処分し、昭和42年、本格的な一般病院を建築し、新たなスタートを切りました。平成7年に、理事長鈴木哲夫が逝去し、鈴木道夫が理事長を継承しています。尚、平成15年4月には創設者の曾孫に当る鈴木信吾が院長に就任し、現在に至っております。

## 職場紹介 リハビリテーションセンター

リハビリテーションセンターは、鈴木病院の長い歴史の中で平成19年3月に開設された最も新しい部署です。当センターの特徴は、開放感のある恵まれた自然環境の中、ゆっくりと落ち着いた雰囲気でのリハビリテーションが出来ることです。

また、入院、外来、在宅訪問(在宅準備を含む)と患者さんの状態に応じて継続的に機能訓練や生活指導を実施していることも大きな特徴です。

今回、記念すべき“すずなり”第1号で紹介させていただけるということなので、ご挨拶も兼ねスタッフ6人の紹介をさせていただきます。



番号	氏名	年齢	今、はまっていること
①	斎藤 秀明	37	犬の散歩
②	矢島 敬嗣	38	ドライブスルーに行く
③	伊藤 興正	35	フライフィッシング
④	安藤 誠	40	戦艦大和の研究
⑤	引地 史江	31	お金持ちを探すこと
⑥	柏谷 真由	23	彼と旅行に行くこと



これからもご利用される皆さんが満足できる施設となれるようスタッフ一同、日々頑張っております。ご質問があればリハビリテーションセンター(本館3階)まで、お気軽にご相談下さい。

スタッフ 一同より

## イベントのお知らせ!

### 患者様と職員の 合同文化祭

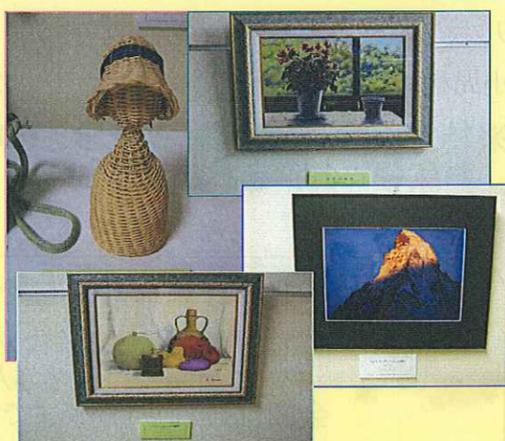
今年も文化祭の時期がやって参りました。

皆様のお力添えを頂きお陰さまで26回目を迎えました。今年もどうかおひとりでも多くの方に出品して頂き、盛大に開催したいと願っております。どうぞ奮ってご参加下さいませよう宜しくお願い申し上げます。

**開催期間: 11月1(土)~11月15日(土)**

詳しい情報につきましては、会計受付にご案内・出品申込用紙をご用意しております。

尚、文化祭は当院のサービス向上委員がお手伝いしています。



第25回 文化祭作品